

# 音更町地球温暖化対策実行計画の取組結果について

## (平成27年度実績)

町では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、音更町地球温暖化対策実行計画を平成20年3月に策定し、公共施設などから排出される温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます。

計画では、町が所有し管理する全ての公共施設と町が行う全ての事務・事業を対象として、温室効果ガス排出量削減の取り組みを行い、地球温暖化対策を推進するものです。この計画の概要及び平成27年度の取組結果は次のとおりです。

### 1 計画の概要について

#### (1) 計画期間

平成25年度から平成29年度までの5年間（第2次計画）  
※第1次計画は平成20年度から平成24年度までの5年間

#### (2) 対象とする温室効果ガス

二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン

#### (3) 温室効果ガス排出量（基準年度）

9,353,922 kg（平成18年度）

#### (4) 温室効果ガスの削減目標

平成18年度排出量の6%（561,235 kg）の削減

#### (5) 具体的な取組

公用車の運行、暖房の温度設定、電気の節電等、各項目について職員全員で削減に取り組んでいます。

### 2 平成27年度取組結果

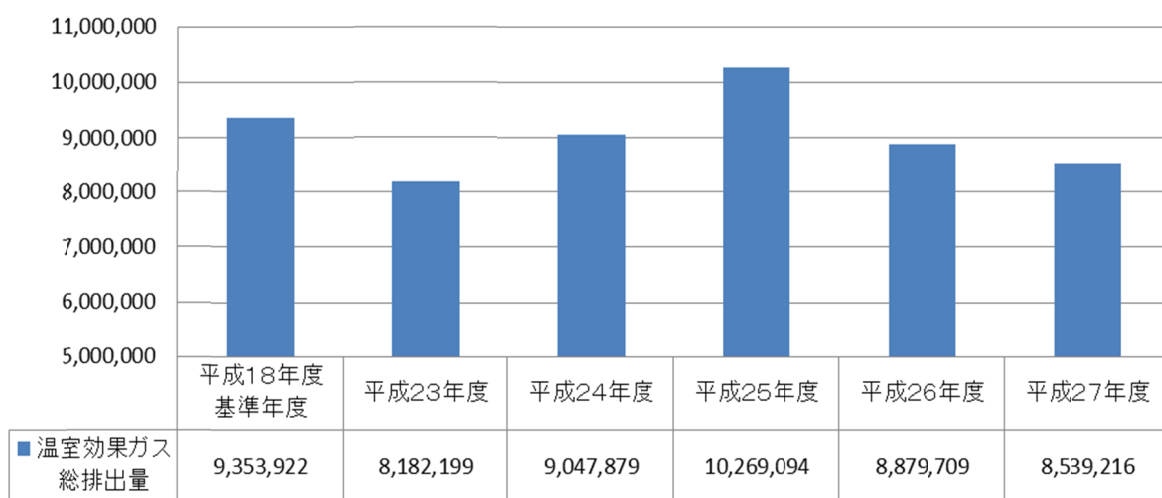
#### (1) 温室効果ガス排出量

平成27年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度である平成18年度と比較して8.71%の削減となりました。温室効果ガス総排出量のうち99.86%を占めている二酸化炭素の排出量は、基準年度と比較して8.75%の削減となりました。

【温室効果ガス排出量】

(排出量単位: kg-CO<sub>2</sub>)

温室効果ガスの種類	平成18年度 (基準年度)	平成27年度	増減(%)	平成29年度の 目標削減率
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	9,345,035	8,527,306	△ 8.75	H18比 6%削減
メタン (CH <sub>4</sub> )	2,157	2,095	△ 2.87	
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	5,560	8,642	55.43	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	1,170	1,173	0.26	
総排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	9,353,922	8,539,216	△ 8.71	



(2) 燃料別の使用量・二酸化炭素排出量

燃料別の二酸化炭素排出量では、電気が総排出量の54.8%、A重油が33.3%であり、この2項目で総排出量の約9割を占めています。燃料別の使用量では、基準年度と比べて灯油・液化石油ガス・電気で増加しましたが、ガソリン・軽油・A重油は減少となりました。

【燃料別の使用量・二酸化炭素排出量】

燃料の種類	平成18年度(基準年度)		平成27年度			比較	
	使用量	排出量	使用量	排出量	割合(%)	H18対比使用量 増減(%)	H18対比排出量 増減(%)
ガソリン (ℓ)	50,682	117,582	49,551	114,958	1.35	△ 2.23	△ 2.23
軽油 (ℓ)	19,250	50,435	18,485	47,690	0.56	△ 3.97	△ 5.44
A重油 (ℓ)	1,533,502	4,155,791	1,045,790	2,834,091	33.24	△ 31.80	△ 31.80
灯油 (ℓ)	242,777	604,515	302,430	753,050	8.83	24.57	24.57
液化石油ガス (m <sup>3</sup> )	15,046	45,138	18,108	108,213	1.27	20.35	139.74
電気 (kWh)	9,126,460	4,371,574	7,578,407	4,669,304	54.76	△ 16.96	6.81
CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )		9,345,035		8,527,306			

## ◆基準年度の排出係数に固定した場合の温室効果ガス排出量

温室効果ガスの排出量は燃料等の使用量に決められた排出係数を乗じて算出しており、排出係数は、変動する場合があります。特に電気の場合は、火力発電所の稼働率などによって毎年変動します。また、電力会社によって電源（水力・火力・原子力など）比率や燃種（石油・石炭・天然ガスなど）が異なるため、電力会社ごとに排出係数も異なっています。

下記の表は温室効果ガス排出量の増減を適切に表現するため、変動の大きい電気の排出係数を基準年度（平成18年度）に固定して算定しています。

平成27年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度である平成18年度と比較して19.82%の削減となりました。温室効果ガス総排出量のうち99.86%を占めている二酸化炭素の排出量は、基準年度と比較して19.87%の削減となりました。

【温室効果ガス排出量】 ※H18の排出係数を使用した場合 (排出量単位: kg-CO<sub>2</sub>)

温室効果ガスの種類	平成18年度 (基準年度)	平成27年度	増減(%)	平成29年度の 目標削減率
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	9,345,035	7,488,058	△ 19.87	H18比 6%削減
メタン (CH <sub>4</sub> )	2,157	2,095	△ 2.87	
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	5,560	8,642	55.43	
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	1,170	1,173	0.26	
総排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	9,353,922	7,499,968	△ 19.82	

